いう機会は積極的にやっていきたいと思っており、次期基本計画を策定するに当たっては、我々が各中学校に出向いて子どもたちの意見を聞こうという考えでいまして、そういった機会を積極的に自治基本条例に基づいてやっていきたいと思っています。

新設校は小学校1つでは足りません

日本共産党　小田桐　仙

問　**過大規模校について文部科学省はどんな指摘をし、教育委員会議・総合教育会議で議論しているのか。教育委員会の考える小中学校適正規模はどの程度で、平成34年度おおたかの森小学校と小山小学校は何校分の児童を詰め込むことになるのか。**

答　**学校教育部長**　文部科学省が策定した手引きでは、①一人一人が活躍する機会が少なくなる。②異学年交流の機会が設定しにくくなる。③児童生徒間の人間関係が希薄化する。④きめ細かな指導が困難で、問題行動が発生しやすい。⑤教育活動の展開に支障が生じる。⑥授業の割り当てや調整が難しい。⑦教職員が十分な共通理解を図る上で支障が生じる。教育委員会としては、過大規模校に生じる可能性があると認識しています。

教育長　教育委員会議で、今後議論が深まっていくと考えます。

文部科学省が適正規模としている12から18学級が適正と思っています。

学校教育部長　おおたかの森小学校は、３・８校分、小山小学校は、３・２校分になると思います。

保育園の待機児童は何人か

日本共産党　植田　和子

問　**最新の保育所入所申請数と待機児童数は何人になる予定で、現時点での入所保留は何件ですか。送迎保育ステーションの新たな安全対策をお答え下さい。現実と、母になるなら流山市。のキャッチコピーとのギャップについて見解を伺います。**

答　**子ども家庭部長**　入所申請件数内訳は1次で1516人、2次で154人申請がありました。決定者数と保留者数については、まだ2次利用調整中で最終結果ではありませんが、1次決定者が1007人、保留者が509人となっています。

平成29年度予算におおたかの森送迎保育ステーション送迎バス1台を増車したいと考えています。1時間以内で送迎が終わるよう運行行程を組みますが、保育園が増加し、1時間の壁が危うくなってきたところもあり、事業者と相談して、1時間以内で送り迎えができるよう取り組みたいと思っています。

保留の方のお叱りの声もお聞きしています。ご期待に応えるよう頑張りたいと考えています。

高齢者の暮らしを守る軽減策を！

日本共産党　徳増　記代子

問　**高齢者医療・介護・年金のさらなる給付減と負担増が進められているが、市民生活への影響をどう把握していますか。市民を守るために高額介護利用料は医療と同様に償還払を現物支給に、さらに特別養護老人ホームの多床室を増やすべきではありませんか。**

答　**健康福祉部長**　社会保障の給付減、負担増について、介護保険制度では、改正時には多少の不満の声も聞かれましたが、施設対処やサービス利用を控えるなどの状況には至っていません。なお、医療、年金については、対象者、金額とも把握していません。

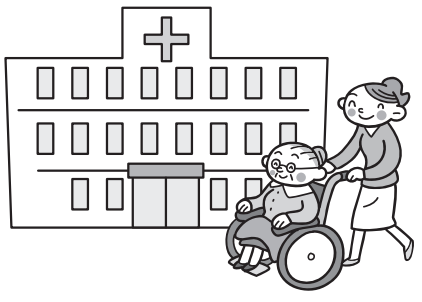
高額サービス費の給付については、全国的な制度であり、市が独自で現物支給の仕組みづくりを行うという考えはありません。特別養護老人ホームにおける多床室の整備については、平成30年度から平成32年度までの第７期高齢者支援計画の中で、多床室を取り入れる整備を検討しています。

医療・介護の連携で在宅でも安心のまちに

日本共産党　乾　紳一郎

問　**医療供給体制の見直しで「病院から在宅へ」が加速しています。地域の受け皿が不十分な中で、在宅医療、介護や看取りなどの現状はどうですか。「介護離職」「介護難民」「孤独死」などが心配ですが、流山市の状況をどう認識していますか。**

答　**健康福祉部長**　病院から在宅への流れが強まっていることは、例えば介護と医療をつむぐ会や各職種の代表者が集う在宅医療介護連携会議の中でも議論を展開しており認識しています。看取りの状況について把握はできませんが、今後地域の医療と介護の受け皿を整備していかなければ、介護離職、介護難民、孤独死も起こりかねないと思っています。したがって、そのようなことが将来的にないように、まずは流山市在宅医療介護連携拠点事業実施計画の中で必要事項についての６つの柱の受け皿整備に向けて進めていきたいと考えています。



流山セントラルパーク駅周辺の子育て支援策

公明党　斉藤　真理

問　**近年子育て世代が増加している流山セントラルパーク駅周辺には、乳幼児を連れて徒歩で行ける交流の場が無い。この地域は今後も子育て世代の増加が見込まれることから、生涯学習センターで、子育てサロンを開催できないか問う。**

答　**生涯学習部長**　現在教育委員会では、各公民館を中心に定期的に子育てサロン等を実施し、乳幼児と保護者の情報交換や交流の場を設けています。育児や子育てに関する講座については、家庭教育や子育て支援の一環として、市内各所に位置する公民館等において実施しているところですが、流山セントラルパーク駅周辺は、ご指摘のように沿線開発の進展に伴い子育て世代の増加が進むなど、地域の環境に変化が見られています。そのため生涯学習センターにおいても来年度から子育て世代を対象とした親子で集え、情報の交換、交流ができる事業の実施に向け、関係団体と協議、調整を進めます。

流山セントラルパーク駅周辺の街並み

総合防災訓練の拡充について

公明党　野村　誠

問　**愛知県尾張旭市では総合防災訓練に災害ボランティアコーディネーターの協力を得て災害ボランティアセンターの設置運営訓練を行っています。例年８月に実施されている総合防災訓練において是非取り入れるべきと思いますが見解を伺います。**

答　**市長**　ボランティア活動の分野については、流山市社会福祉協議会ボランティアセンターが主催する災害ボランティアリーダー養成講座の中で、流山市に想定される災害の講座を担当し、ボランティア会員の方々に災害時におけるボランティア活動の重要性について再認識していただいています。大規模な災害が発生した場合、迅速かつ的確な災害応急活動を実施するためには、行政や防災関係機関だけでは十分に対応できないことから、ボランティアの方々のご協力をいただくことが被害拡大防止のため必要不可欠です。そのため平成29年度の総合防災訓練では、ボランティアセンターと連携した訓練の実施を検討します。

平成28年度　政務活動費収支報告について

会派等	交付金額 年度当初交付金額	交付金額 会派変更等による変更額	交付金額 最終交付額	支出額	（上段）返還額 （下段）自己負担額
流政会	384万円	0円	384万円	383万3455円	6545円 0円
自由民主党	240万円	0円	240万円	200万3269円	39万6731円 0円
新風流山	240万円	0円	240万円	44万4333円	195万5667円 0円
公明党	192万円	0円	192万円	113万1580円	78万8420円 0円
日本共産党	192万円	0円	192万円	202万5463円	0円 10万5463円
交付議員A	48万円	0円	48万円	49万3774円	0円 1万3774円
交付議員B	48万円	0円	48万円	37万8120円	10万1880円 0円
合　計	1344万円	0円	1344万円	1030万9994円	324万9243円 11万9237円

交付金額を限度とし、支出額が交付額を下回った場合は、返還が生じます。
交付議員AおよびBは、会派に属さない議員です。